

各位

株式会社福井銀行

パイネック若狭株式会社さまへの 「SDGs宣言」の策定支援について

株式会社福井銀行（頭取 長谷川 英一）は、SDGsの達成に取り組んでいる企業さまをご支援するため、『くふくぎん〉SDGs経営支援サービス』をご提供しております。

この度、本サービスを通じて、パイネック若狭株式会社さまが「SDGs宣言」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【企業概要】

発行企業名	パイネック若狭株式会社
所在地	福井県小浜市加斗 80-20-1
代表者	倉谷 薫
設立	2001年9月
重点項目	

※「SDGs宣言」の詳細は別紙をご参照ください。

企業にとってのSDGs経営とは「事業活動を通じて社会課題を解決していくこと」です。SDGsへの取組みが企業イメージの向上および事業拡大やイノベーション等の新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGs経営を推進しております。

福井銀行は、地域金融機関として、地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現に貢献するため、お客さまのSDGsへの取組みを支援してまいります。

■ 該当するSDGsの目標



【Fプロジェクト サステナビリティ方針】

Fプロジェクトは、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動等の環境問題など地域を取り巻くさまざまな課題解決に誠実かつ公正に取り組む、社会価値・経済価値・企業価値の向上を目指してまいります。

※Fプロジェクト：福井銀行グループと福邦銀行グループの総称

以上



パイネック若狭 株式会社

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、事業活動を通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2023年7月6日
パイネック若狭 株式会社
代表取締役 倉谷 薫

取組事例

安全で確実な設計・施工管理 および環境保全活動

電気工事を通じて社会に必要なインフラ整備を行い、環境に配慮した事業活動を実践してまいります。

《具体的な取組み》

- 工事手順書作成による品質マネジメントシステムの構築と管理
- 地中埋設管(エフレックス)、プラスチック製品の使用を減らした設計・施工
- エコ電線、エコケーブルの導入
- LEDライト導入による省エネルギー化
- 太陽光パネル、雨水タンク設置による環境配慮

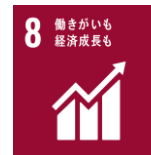


人材育成に関する取組み

一人ひとりの個性を尊重し、知識と技術向上を図れる環境を整備いたします。

《具体的な取組み》

- 定例的な労働安全協議会の実施、安全点検の徹底
- 柔軟な勤務体制の整備・運用
- 各種技術講習、資格取得支援の実施
- 会社負担での資格手当の支給
- 非喫煙率100%の達成



事業内容

商号	パイネック若狭 株式会社
設立日	2001年9月
事業所(本社)	福井県小浜市加斗80-2-1 TEL :0770-53-4380 FAX :0770-53-4381
草津事業所	滋賀県大津市石山寺5-9-27
建設業許可	電気工事業:福井県知事許可
事業内容	電気工事業(工事用電気設備・高圧受変電設備・自家発電設備等)
営業品目	電気設備・空調設備・太陽光発電設備・防災通信設備・省エネルギー設備 循環型環境設備

経営ビジョン

経営理念

人間ひとりひとりの創造的個性を尊重し、広いところで、知識の交流をはかり、個々の確立された知性と技術能力を結集し、エレクトリック関連の事業をより高い施工技術によって、豊かな社会の発展に貢献する。

経営姿勢

1. 時代と顧客のニーズに応える。
2. より安全に・より確実に・より便利な技術開発。
3. 質の高い作業で信頼のネットワークを形成する。
4. 広い視野で社会に貢献する企業を目指す。



代表取締役 倉谷 薫

弊社では、地球環境と人間尊重企業を目指し2001年の会社設立以来、官公庁・民間企業・工場の工事、メンテナンスや関西電力原発工事等社会に必要なインフラ整備を行ってまいりました。一人ひとりの個性を尊重し、技術講習や勤務体制の整備を行うことによって人間性の成長を支援することにより、地域社会で活躍できる人材の育成にも寄与したいと考えております。顧客のニーズに応えるべく、「顧客目線に立ちお客さまのニーズを理解したうえで商品を提供する」をモットーとしています。

これからも社会に貢献できる人材の育成、環境に配慮した取組みを推進し、SDGsを通して社会に貢献できる企業を目指します。未来につなげるために今できることを精一杯実践してまいります。

『〈ふくぎん〉SDGs 経営支援サービス』について

【サービス概要】

取 扱 店	全店
対 象 と な る 方	当行と預金取引のある法人のお客さま
サ ー ビ ス 内 容	<p>SDGsへの取組状況の確認と今後の対応事項の整理から、対外PR支援までを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <u>取組状況の確認と今後の対応事項の整理</u> 経済産業省関東経済産業局公表の「SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項」をもとに作成したオリジナルのチェックシート（6分野36項目）により、企業のSDGsへの取組状況を把握し、整理した結果を専用のフィードバックシートにて還元 ■ <u>事業戦略への反映</u> フィードバック結果を踏まえ、事業とSDGsの結びつきを明らかにし、今後取り組むべき優先課題を見つけ、効果的な事業戦略に反映 ■ <u>対外支援PR</u> 専用のSDGs宣言を策定し、当行ホームページ等を通じてニュースリリースを実施
利 用 手 数 料	220,000円（消費税込） ※社内セミナーのオプションあり（価格は要相談）